



米国発表報道資料意識

## アドビシステムズ社 2005 年会計年度第 3 四半期において 堅調な売上と利益増を達成

**Adobe Creative Suite と Adobe Acrobat の好調な伸びが  
前年同期比 21% の売上増を牽引**

### 【2005 年 9 月 20 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2005 年 9 月 15 日）（NASDAQ：ADBE）Adobe Systems Incorporated（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ 以下アドビシステムズ社）は、2005 年度第 3 四半期（2005 年 6 月 4 日から 2005 年 9 月 2 日）の堅調な決算結果を発表しました。

2005 年度第 3 四半期の売上は 4 億 8,700 米ドルでした。2004 年度の第 3 四半期は 4 億 370 万米ドルで、前年同期比 21% の増加となりました。2005 年度第 2 四半期は 4 億 9,600 万米ドルでした。今第 3 四半期の売上目標は、4 億 7,000 万米ドルから 4 億 9,000 万米ドルの間でした。

アドビシステムズ社 CEO（最高経営責任者）であるブルース チゼン（Bruce Chizen）は、「堅実な事業の遂行により、本年第 3 四半期も 2 桁の成長を達成しました。この業績結果は、アドビシステムズが行うビジネス全体の堅調さを表しています。そして今後のマクロメディア社との統合によって、さらなる成功が約束されていることを示すものです」と述べています。

今第 3 四半期の「一般に公正妥当と認められた会計原則（GAAP）」に基づく希薄化後 1 株当たり利益は、0.29 米ドルでした。投資損失を除く Non-GAAP に基づく同利益は 0.29 米ドルでした。

今第 3 四半期の GAAP ベースに基づく純利益は 1 億 4,490 万米ドルでした。前年同期における実績は 1 億 450 万米ドル、本年第 2 四半期実績は 1 億 4,980 万米ドルでした。海外投資資金の引き揚げによる税務上の影響、および投資損失に該当する項目を除く Non-GAAP ベースでの純利益は、今第 3 四半期が 1 億 4,640 万米ドル、前年同期実績は 1 億 560 万米ドル、本年第 2 四半期実績は 1 億 4,290 万米ドルでした。

今第 3 四半期の GAAP に基づく希薄化後の 1 株当たり利益は、5 億 780 万株の加重平均株数に対し 0.29 米ドルでした。前年同期の 4 億 9,420 万株の加重平均株数に対する同利益は 0.21 米ドル、本年第 2 四半期の 5 億 820 万株の加重平均株数に対する同利益は 0.29 米ドルでした。

今第 3 四半期の GAAP および Non-GAAP に基づく営業利益は、1 億 8,360 万米ドルでした。前年同期実績は 1 億 4,030 万米ドル、本年第 2 四半期実績は 1 億 8,220 万米ドルでした。これは前年同期比 31% の増加となりました。売上に対する GAAP 上の営業利益率および Non-GAAP 上の営業利益率は今第 3 四半期が 37.7%、前年同期が 34.8%、本年第 2 四半期が 36.7% でした。

## マクロメディア社買収に関する最新情報

2005年8月24日、アドビシステムズ社およびマクロメディア社両社の株主は、アドビシステムズ社によるマクロメディア社買収の提案を圧倒的多数で可決しました。この結果を受け、アドビシステムズ社は同日、両社の統合プロセスは順調に進んでおり、統合完了を2005年秋と予定しており、当局の認可および契約条件の履行が必要であると発表しました。

マクロメディア社買収に関する最新情報については以下のWebサイトをご参照下さい。  
<http://www.adobe.com/aboutadobe/invrelations/adobeandmacromedia.html>

## 2005年度第4四半期の目標を発表

アドビシステムズ社は2005年度第4四半期の売上目標を、前年比約14%から19%の増収となる、4億9,000万米ドルから5億1,000万米ドルに設定しました。同じく売上総利益率は約94%、および営業利益率はGAAPベース、Non-GAAPベースともに約35%から36%に設定すると発表しました。

2005年度第4四半期の売上に対する費用比率の項目別目標は以下の通りです。

研究開発費	約20%
販売・マーケティング経費	約29%から30%
一般管理費	約9%

さらに、アドビシステムズ社は同社の発行株式数について、2005年度第4四半期は5億900万株から5億1,100万株の範囲にすることを目標にしています。営業外収益については約1,100万米ドルから1,200万米ドルを目標にしており、実効税率については25%を目標としています。2005年度第4四半期の1株当たり利益の目標は、GAAPベース、Non-GAAPベースともに、0.27米ドルから0.29米ドルの間です。

アドビシステムズ社は現在のところ、Non-GAAPベースの1株当たり利益と営業利益率の目標は、GAAPベースの目標とほぼ同じであると考えています。

これらの目標値はマクロメディア社との統合に影響を及ぼすものではありません。

## 将来的観測の開示について

本プレスリリースは、売上、製品発売、売上総利益、営業費用、営業利益、営業外収益、実効税率、発行済み株式数、1株当たり利益、およびマクロメディア社の買収および統合のタイミングを含め将来的観測であり、実際の業績に比して大幅に異なる可能性（リスクと不確実性）があります。そのような原因となり得る要素として、以下が挙げられますが、必ずしもこれらに限られるものではありません。

- ・アドビシステムズ社が事業をおこなっている主要地域での不慮の経済的、政治的環境変化
- ・新製品、または既存製品の新しいバージョンの開発や出荷の遅延
- ・既存の、または新たな競合他社による新製品の市場投入
- ・新たなビジネスモデルや新たな市場への移行の失敗

- ・アプリケーションソフトウェア、コンピュータおよびプリンタ需要の変動
- ・知的財産に関する紛争、訴訟
- ・過去および将来の買収において予期される利益予測および買収による統合の難航
- ・流通経路の変更
- ・ワームやウイルス等が、当社のネットワークやアプリケーションに及ぼす影響
- ・製造委託業者との契約関係の中断および解除
- ・国際的な事業展開によるリスク
- ・外国為替相場の変動
- ・会計基準の変更
- ・予期せぬ税率の変更
- ・会社の株式投資にともなう市場リスク
- ・主要な人材を集め、維持することができないこと

これらおよびその他のリスクと不確実性についての解説は、当社が証券取引委員会（SEC）に提出した、2004年度年次決算報告書（Form10-K）および2005年度四半期決算報告書（Form10-Q）等の書類をご参照下さい。アドビ システムズ社はこれら将来的観測を更新する義務を負うものではありません。

#### **アドビ システムズ社について**

アドビ システムズ社は、効果的で信頼性の高いデジタルコンテンツを制作、管理、配信するためのソフトウェア ソリューションを提供する世界有数の企業です。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.co.jp/> でご覧いただけます。